

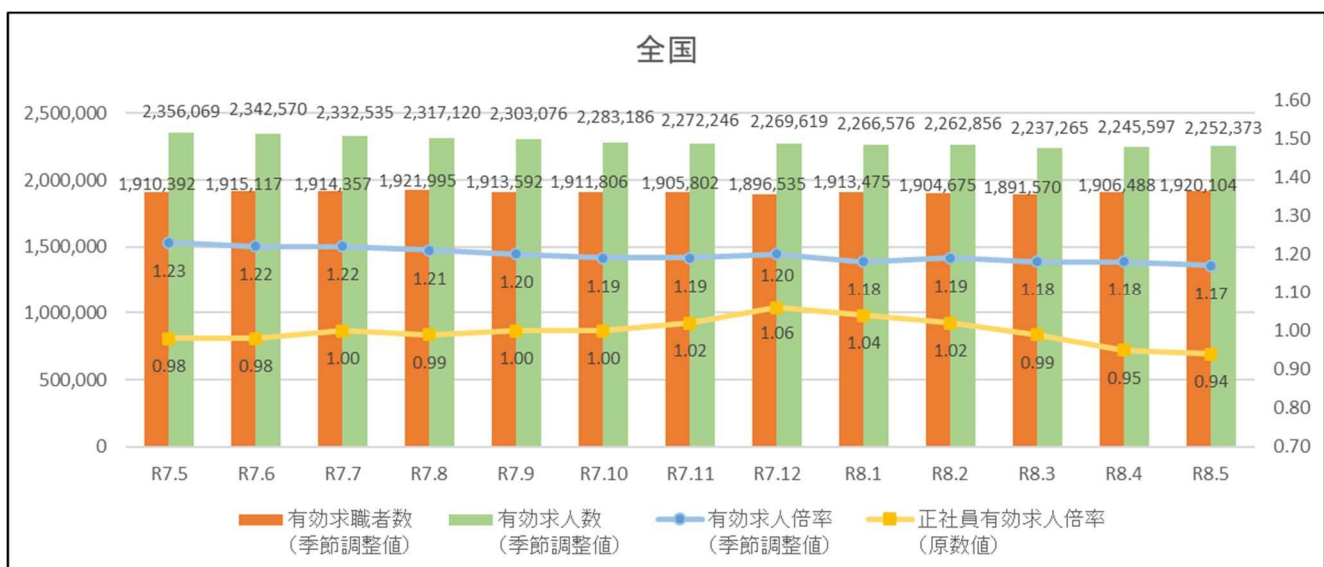
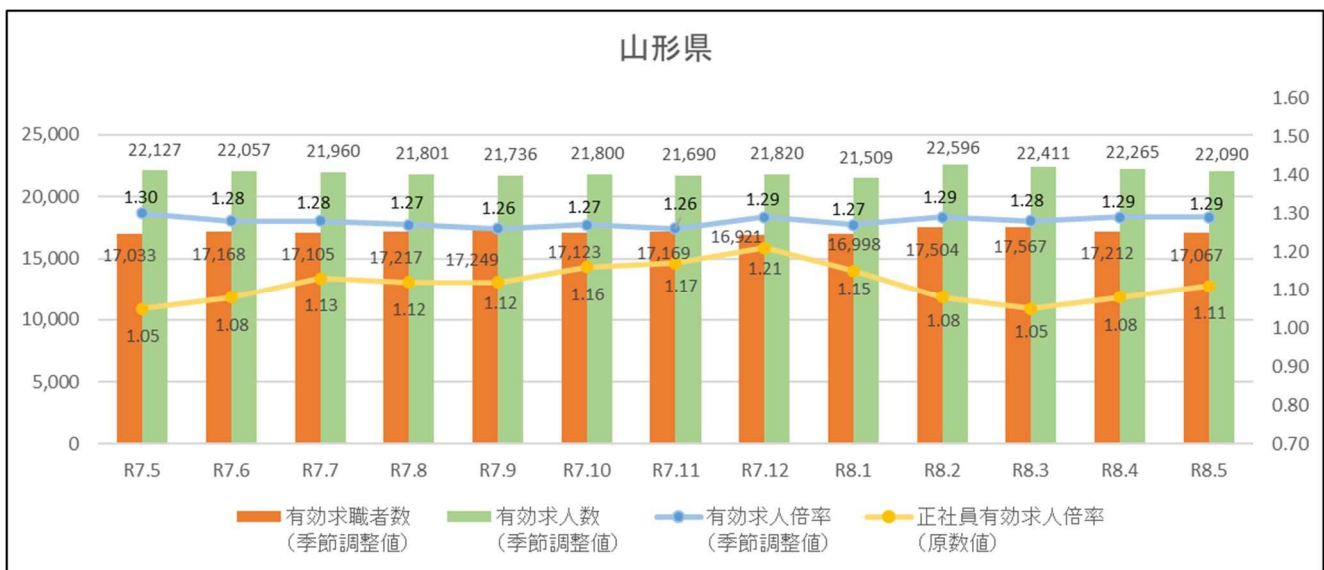
令和 8 年 5 月の県内の雇用情勢について

山形労働局が公表した標記の件によると、県内の有効求人倍率は前月と同水準の 1. 29倍となりました。

求人数は、イラン情勢や物価高騰などによる先行きへの懸念から、企業の採用姿勢が依然として慎重であることなどを背景に減少し、求職者数も、こうした先行きへの不透明感から、在職者を中心に求職活動に慎重な姿勢がみられたことなどから減少しました。

また、山形県内の雇用情勢は、「持ち直しの動きに弱さがみられることから、今後とも、物価高騰・イラン情勢等が雇用に与える影響に留意する必要がある」と前月から据え置き
の基調判断となっております。

なお、全国の有効求人倍率は、前月を0. 01ポイント下回る1. 17倍となりました。



(注) 厚生労働省及び山形労働局の発表資料による。

令和9年3月高等学校卒業予定者の求職動向について

— 概 要 —

1. 全体

令和9年3月卒業予定者数	8,525人	前年同期比	1.6%減	(137人減少)
うち就職希望者数	1,724人	前年同期比	8.7%減	(165人減少)
うち県内希望者数	1,355人	前年同期比	11.6%減	(178人減少)

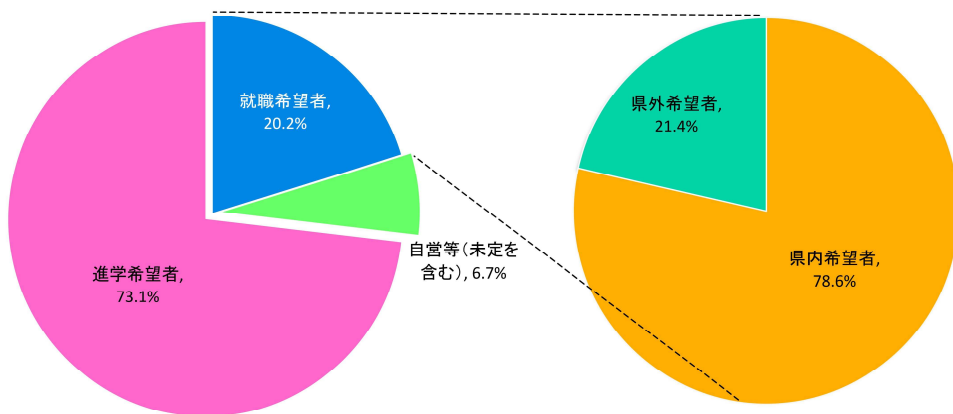
【構成比】就職希望者 20.2% 就職希望者のうち県内希望者 78.6%

↑ 前年比▲1.6%

前年比▲2.6%

【進学等希望者・就職希望者割合】

【県内就職希望者・県外就職希望者割合】



※上記の就職希望者数・県内希望者数は、学校又はハローワークの紹介による就職を希望する者
(自営、縁故採用、公務員への応募等、学校又はハローワークの紹介によらない就職を希望する者は含まず。)

出典：山形労働局「令和9年3月高等学校卒業予定者の求職動向について」